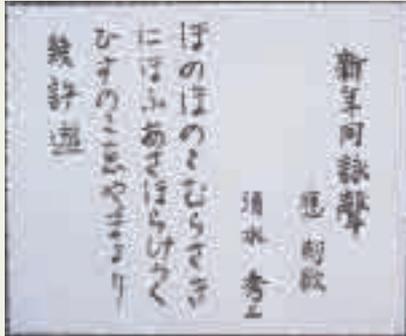




盆踊り 昭和48年(1973)



新年同詠声 昭和41年(1966)

# 企画展 歌人 清水比庵 ひ あん

8月7日(土)～10月11日(月・祝)

開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

入館料 一般300円、小・中学生150円

休館日 毎週火曜日

高梁出身の歌人・清水比庵(1883～1975)は、はじめ司法官から実業界に身を置き、昭和5年(1930)懇望され日光町(現日光市)の町長に就任、日光の観光開発に尽力したことで知られています。町長就任前から作歌活動を本格的に行い、昭和4年(1929)には現在の窓日短歌会の前身となる二荒短歌会を主宰。また、短歌のみにとどまらず、独自の境地に至った絵画、書を数多く残しました。こうした比庵の作品は、歌書画三位一体の芸術として広く知られました。

比庵芸術において、和歌はさまざまな形で表現されてきました。今回はその和歌に注目し、作歌過程の資料をはじめ、常に筆が用いられた原稿など紹介し、比庵芸術の基礎にせまります。

高梁市歴史美術館 (文化交流館2階) Tel.0866(21)0180

## 松島巖 ガラスの世界展

### 甦るコアガラス

8月6日(金)～9月26日(日)

開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)

入館料 一般600円、高校・大学生・65歳以上400円、  
小・中学生200円(20人以上団体は2割引)

休館日 毎週月曜日(8月16日、9月20日は開館)、9月21日

※会期中も児島虎次郎作品、化石展示室はご覧いただけます。

岡山市在住の松島巖(1946～)は、国内外で高い評価を獲得しているガラス作家です。松島の制作の原点は、大原美術館の児島虎次郎によるエジプトコレクションの中の古代コアガラス瓶との出会いでした。その製法に挑むことが出発点となり、独学で約2000年前のコアガラスの技法を研究、現代に甦らせます。以降、古代の造形を意識しつつも現代的なセンスを盛り込んだ「器」や「アクセサリ」を今日まで作り続けてきました。

今展では、松島巖のガラス作家35年の歩みを、初期代表作から最新作までの約100点でご紹介します。

#### ●松島巖さんによるギャラリートーク

8月6日(金) 11:30～

#### ●笛奏者・雲龍さんによるコアガラスの笛などの演奏

8月6日(金) 13:30～、15:30～

#### ●松島巖さんによるアーティストトーク

8月22日(日) 14:00～

#### ●記念講演会「古代ガラス研究と松島巖さん」

9月4日(土) 14:00～

講師：岡山市立オリエント美術館長 谷一 尚さん

定員：40人



綾紡ぎコーン 2008年



左・ゴールドバンド玉首飾り 1991年  
右・縞瑪瑙写し玉トップ首飾り 1991年  
(撮影=小林庸浩)

高梁市成羽美術館 <http://www.kibi.ne.jp/~n-museum/>  
Tel.0866(42)4455

編集と発行(毎月15日発行)高梁市総務部企画課

〒716-8501 岡山県高梁市松原通2043 電話0866(21)0210 ホームページアドレス <http://www.city.takahashi.okayama.jp/>



環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

本紙は環境保全のため再生紙を使用しています。